

# さくらそう展

—江戸が愛した桜草—



2012年4月21日(土)～4月30日(月・祝)

[開園時間] 9時～16時30分(入園は16時まで) ※会期中休園なし

[入園料金] 一般300円・高校生以下および65歳以上は無料

主催 = 国立科学博物館 筑波実験植物園/筑波大学農林技術センター

協力 = 筑波大学大学院生命環境科学研究科育種学分野/NPOつくばアーバンガーデニング/愛知教育大学理科教育講座/明治大学農学部花卉園芸学研究室/筑波大学サクラソウ里親の会

国立科学博物館 筑波実験植物園

〒305-0005 茨城県つくば市天久保4-1-1 TEL 029-851-5159 <http://www.tbg.kahaku.go.jp/>



南京小桜  
現存する最古の品種  
(江戸時代中期作)

江戸が愛した桜草  
さくらそう展

ピンク色の可愛らしい花を咲かせ、身近な春の植物として親しまれているサクラソウ。江戸時代の人々の手によって様々な色や形を持つ園芸品種が野生種から作り出され、園芸文化として多数の品種が栽培方法や展示方法などとともに現代まで伝えられています。これらサクラソウ園芸品種群は、江戸時代の思潮や美意識で育成された民俗文化財なのです。今年の「さくらそう展」では、多様な園芸品種の中から選りすぐりの品種を展示するとともに、野生サクラソウからどのように園芸品種が多様になってきたのかを“江戸”をキーワードに紹介します。



100種類以上の園芸品種を一挙公開



江戸の伝統的な鑑賞法①



江戸の伝統的な鑑賞法②



獅子頭

江戸時代には多数の品種が作られた

〈展示案内〉

専門家と会場をまわります(予約不要)

各日とも 13:30-14:30

4/21(土) 大澤 良(筑波大学)

4/22(日) 半田 高(明治大学)

4/30(月・祝) 水田 大輝(筑波大学)

〈セミナー〉

サクラソウの色に注目します(予約不要)

4/28(土) 13:30-15:30

「サクラソウなどの園芸植物の花の色の多様性」

岩科 司(筑波実験植物園長)

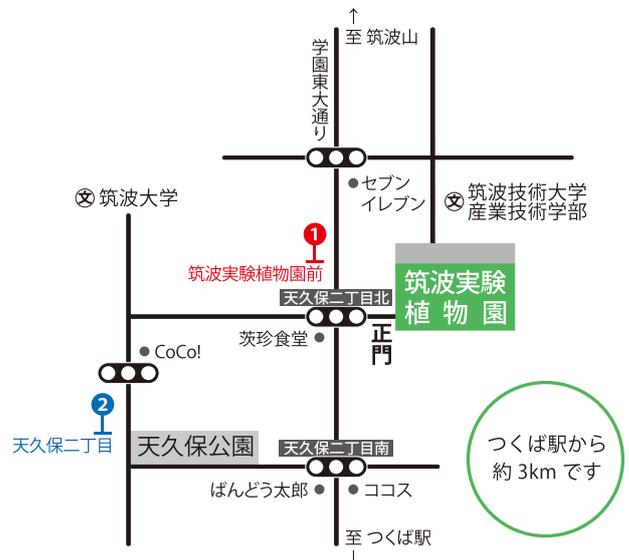
〈交通案内〉

- お車 | 常磐自動車道 桜土浦 I.C. から北 (筑波山方面) へ約 8km
- 電車・バス | つくばエクスプレス「つくば駅」より関東鉄道バス
- ① 5 番乗り場『テクノパーク大穂行き』→「筑波実験植物園前」下車→徒歩 2 分
- ② 6 番乗り場『筑波大学循環左回り』→「天久保二丁目」下車→徒歩 8 分

[つくば駅バスターミナル時刻表]

①	平日		土日祝
	9		35
10	0 55	55	
11			
12			
13		20	
14	0		
15			

②	平日		土日祝
	9	10 30 50	0 40
10	10 30 50	20	
11	10 30 50	0 40	
12	10 30 50	20	
13	10 30 50	0 40	
14	10 30 50	20	
15	10 30 50	0 40	



つくば駅から約 3km です

お問合せ

[住所] 〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1  
[電話] 029-851-5159 [URL] <http://www.tbg.kahaku.go.jp/>

植物多様性を知る・守る・伝える  
筑波実験植物園  
Tsukuba Botanical Garden

《予告》 - 5/4 (祝) と 5/18 (金) は無料入園日ですー  
クレマチス園公開 5/3 (木・祝) ~ 6/10 (日)  
絶滅危惧植物展 6/2 (土) ~ 6/10 (日)